

「南九州市立^{きよみず}清水小学校の史跡めぐりの取組」

1 学校名

南九州市立清水小学校

2 学年・人数

- ・ 3～6年生 10名
- ・ 教職員 5名

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

- ・ 平成30年10月25日(木)午後 学校と講師との打ち合わせ(学校)
- ・ 平成30年11月10日(土)午前 清水地域塾文化財巡り(学校周辺・岩屋公園)

(2) 発表の日時・場所

平成30年11月10日(土)午前 学校体育館

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称

- ・ 清水磨崖仏(きよみずまがいぶつ)(鹿児島県指定文化財:史跡)
- ・ ^{かなべし}河辺氏居館跡, ^{きよかんあと}宝光院跡, ^{ほうこういんあと}層塔群等(南九州市指定文化財:史跡)

(2) 時代, 特徴

清水小学校周辺には, 県及び市の指定文化財が8件あり, 鹿児島県内では珍しい中世(鎌倉時代)の史跡が主体である。

5 保存会や地域との連携の具体

昭和60年代に学校行事として文化財巡りを始めた。当時は旧川辺町教育委員会に, 合併後は南九州市教育委員会の文化財担当者に講師を依頼し, 指導を受けている。

実施にあたっては, 事前に講師と実施内容について打ち合わせを行っている。

6 活用の取組の工夫した点

- ・ ウォークラリー形式で3班に分かれ, それぞれ2か所の文化財について現地の標柱や説明板から必要な情報をワークシートに書き込む形式で実施した。
- ・ コースの中間地点にある岩屋公園内にある「サクラノヤカタ」2階に集合し, 文化財担当者より, 磨崖仏対岸の弁財天岡から出土した遺物の説明を受けた。また, 新たに作成された実物大の「月輪三大梵字」のタペストリーを見学した。小学校に戻ってから各班が調べた内容を発表し, 共通理解を深めた。
- ・ 班の構成は, 3～6年生を均等に振り分けるため, 各班共に高学年がリーダーとなり下級生をお世話していた。また, 公道を利用するため, 安全確保の面から各班に1名の教員が付き, 引率するようにした。

7 取組の様子（学習状況，発表の場等）



〈市指定文化財「宝光院跡」〉



〈市指定文化財「河辺氏居館跡」〉



〈出土遺物の説明〉



〈ふりかえり・まとめ〉

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ・ 毎日歩いている通学路に、こんなに古いものが残っている事を知ってビックリした。（児童）
- ・ 南九州市の中でも、清水校区には豊かな自然や多くの文化財が残っていることに児童が気付く事で、郷土愛が養われるよい機会になっている。班で行動することにより、上級生・下級生の親睦が深まる効果もある。（教員）
- ・ 帰宅してから家族と活動内容や昔の生活について話し合うように呼びかけている。地域にも文化財愛護思想が広まる。（市教委）